

学校名 羽生市立川俣小学校
所在地 埼玉県羽生市本川俣629番地
電話 048-561-1006

1 本校の概要

本校は、明治19年に開校した歴史と伝統のある学校で、児童数は91名、7学級の小規模校である。学校マスコットとして「かわまたろう（通称：かわちゃん）」がいる。学区には、江戸時代から、地区の平安を祈りながら家々を回った「まわり地蔵」が260年以上も続いている地域である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書スタンプラリー

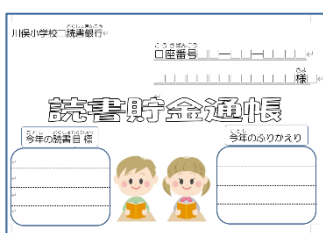
- ・スタンプラリーの台紙に書かれた本を1冊読むごとに1つ「かわちゃんスタンプ」がもらえる。
- ・10個たまると1枚達成となり、図書委員手作りのしおりがもらえる。達成者は、学校図書館前に名前が掲示される。



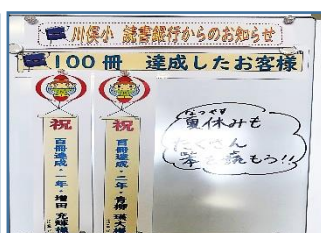
「達成者としおりの掲示」 「スタンプラリー台紙」

イ 読書貯金

- ・学校図書館を川俣小読書銀行本店とし、各クラスを支店として、運営する。
- ・10冊(1・2・3年生)、500ページ(4・5・6年生)読むごとに、読書貯金通帳にシールを貼る。
- ・たくさん読んでいる児童の名前を、毎月昇降口に掲示し称賛する。



「読書貯金通帳」



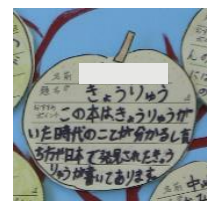
「バルーン掲示での称賛」

ウ 読書の木

- ・読書月間(11月)に、児童のおすすめの本を紹介した実や葉のカードを貼った読書の木を学校図書館に掲示する。借りる本を選ぶ際の参考となる。



「読書の木」



「読書の木の紹介カード」

エ 読書集会

- ・読書月間に、図書委員による読書集会を実施する。
- ・「わたしはだれでしょう？」クイズ、各学年代表児童による本の紹介をする。



「読書集会」



「児童のおすすめの本の展示」

オ 読書郵便

- ・「本を読んで、みんなと仲良くなろう」がテーマ。児童・教員間で、読書の木で紹介された本を読み合い、紹介者宛に往復はがきを書く。ポストに投函されたはがきを、図書委員が配達する。



「読書郵便ポスト」



「図書委員による配達」

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 学校図書館で様々な企画を行うことで、学校図書館での活動を楽しみに来室する児童が増えた。
- イ 昨年度よりも更に学校全体の読書量が増えた。

(2) 課題

- ア 継続して本に親しむ態度を身に付ける。
- イ 学習のツールとしての学校図書館の活用を図る。

(3) おわりに

今後も読書に親しめる工夫を更に重ね、学校全体で、読書意欲を喚起するような環境整備を続けたい。